



2017年10月号



概況

最近の県内経済は、緩やかに回復している。

<p>個人消費</p>	<p>個人消費は、緩やかに回復している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月の百貨店・スーパー販売額(速報ベース、店舗調整後)は前年同月比0.4%増と3カ月連続のプラス。百貨店が同0.9%増、スーパーが同0.2%増となった。 ・8月の各種小売業態販売額は、コンビニエンスストア(全店ベース)が前年同月比1.1%増となった。その他の小売業態(全店ベース、増加率)は、家電大型専門店が同8.3%減、ドラッグストアが同3.3%増、ホームセンターが同2.1%減となった。 ・8月の自動車販売台数は登録車、届出車(軽自動車)合計で前年同月比8.3%増の3,751台と11カ月連続のプラスとなった。登録車が同12.6%増と12カ月連続のプラス、届出車は同2.8%増と5カ月連続のプラスとなった。
<p>住宅投資</p>	<p>住宅投資は、高水準が継続している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月の新設住宅着工戸数は前年同月比9.4%減となった。持家が同11.6%減、貸家が同13.5%減、分譲住宅が同85.0%増となった。なお過去10年では、1~8月の累計が2番目に高い水準となっている。
<p>公共投資</p>	<p>公共投資は、高い水準にある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月の公共工事請負額は、全体で前年同月比27.7%増の163億1,800万円となり、2カ月連続のプラスとなった。県が同10.9%減、市町村が同2.9%減となったものの、国が同133.2%増となり全体を押し上げた。なお4~8月累計では過去10年で、3番目に高い請負額となっている。
<p>一次産業</p>	<p>〔農業〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農林水産省東北農政局の調査によると、2017年産水稻の作柄(9月15日現在)は、作況指数が青森地帯、津軽地帯が「101」、南部・下北地帯は「95」、県全体では「99」と見込まれている。 ・2016年県産リンゴ販売は、8月の県外出荷量が前年同月比26.3%増、消費地市場価格が同14.6%低下となり、県外市場販売額は同8.6%増と2カ月連続のプラスとなった。 <p>〔漁業〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月の八戸港水揚げは数量が前年同月比10.9%減、金額が同11.5%減となった。
<p>生産活動</p>	<p>生産活動は、緩やかに回復している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月の鉱工業生産指数(季節調整値)は、前月比2.7%低下の109.3と再び低下するも、高めの水準は継続している。電子部品・デバイス、鉄鋼などが低下した。 ・原指数では、鉄鋼、電子部品・デバイスが大幅に低下し、前年同月比3.7%低下の112.9と3カ月ぶりに前年同月を下回った。
<p>設備投資</p>	<p>設備投資は、足元改善を示した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月の建築物着工床面積(民間非居住用)は、前年同月比18.0%増の4万4,903㎡と増加し、4カ月ぶりに前年同月を上回った。
<p>雇用動向</p>	<p>雇用動向は、改善している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月の有効求人倍率は1.26倍と、前月比0.02ポイント上昇し、1963年の集計開始以来の最高値を更新した。

一次産業

米

2017年産米、作況指数は「99」

農林水産省東北農政局の調査によると、青森県の2017年産水稻の県平均作柄（9月15日現在）は、10aあたりの予想収量が593kg、作況指数は「99」と見込まれており、予想収量は東北平均を上回ったものの、作況指数は東北平均をやや下回っている。平年と比べると、穂数が「平年並み」、1穂あたりもみ数が「多い」、全もみ数が「多い」、登熟が「不良」と見込まれている。

作柄表示地帯別にみると、登熟は南部・下北地帯が「不良」、青森地帯、津軽地帯がともに「やや不良」と見込まれている。10aあたりの予想収量と作況指数をみると、青森地帯は584kgの「101」、津軽地帯が623kgの「101」、南部・下北地帯が528kgの「95」の作柄が見込まれている。

● 2017年産水稻の作柄概況（9月15日現在）

作柄表示地帯	10a当たり (kg)		作況指数	穂数の多少	1穂あたり もみ数の多少	全もみ数の 多少	登熟の良否
	予想収量	平年収量					
青森県平均	593	573	99	平年並み	多い	多い	不良
青森地帯	584	556	101	やや少ない	多い	やや多い	やや不良
津軽地帯	623	594	101	平年並み	やや多い	多い	やや不良
南部・下北地帯	528	530	95	やや少ない	多い	やや多い	不良
東北平均	565	546	100	やや多い	平年並み	やや多い	やや不良

資料出所：東北農政局

りんご

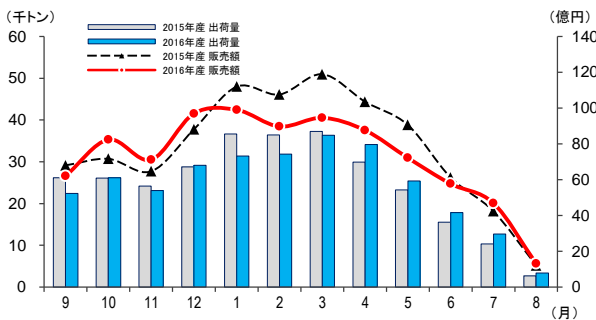
2016年産累計、県外市場販売額、前年比7.2%低下

2016年県産りんご販売、8月の県外出荷量は前年同月比26.3%増の3,334トンとなった。これは平年の7月出荷量を24.4%上回る水準である。消費地市場価格は全種平均で、前年同月比14.6%低下、平年比較で21.3%低下の391円/kgとなった。この結果、県外市場販売額は前年同月比8.6%増と2カ月連続のプラス、平年比較では1.2%減の13億600万円となった。

2016年産県産りんご販売は、消費地市場価格が、昨年8月から本年1月まで、他果実の市場入荷量が少なく高値で推移した後、果実全体の入荷量の安定、県産りんごの出荷数量の多さから安値となり、2016年産累計では、消費地市場価格が前年比7.0%低下の306円/kg、県外出荷量が同1.3%減の29万4,359トン、県外市場販売額が同7.2%減の875億2,100万円となった。

（注）平年とは、月毎の過去5年間の中庸3カ年平均値である。

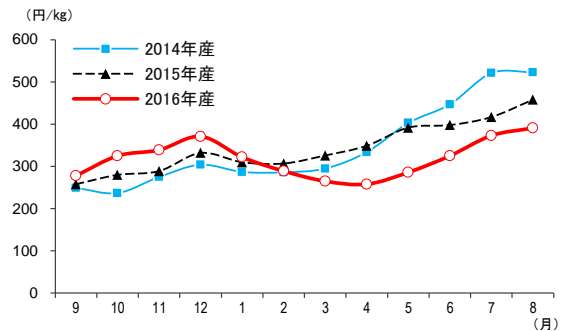
● リンゴ販売 県外市場販売動向



資料出所：県りんご果樹課

（注）出荷量：生食用（県外市場、輸出、小口他）
販売額：小口、加工向けを除く販売額

● 消費地市場価格の推移(全種平均)



資料出所：県りんご果樹課

一次産業

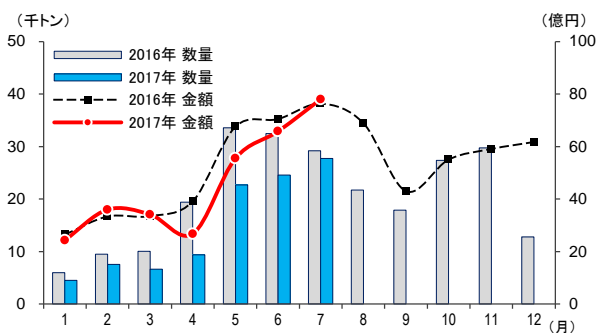
海面漁業

数量減少、金額増加

7月の本県海面漁業は、漁獲数量が前年同月比5.0%減の2万7,751トン、漁獲金額が同2.0%増の78億246万円となった。前年同月に比べ、サバ、ホタテガイ(半生貝)等の漁獲数量が減少した一方、近海生スルメイカ、アカイカ等の漁獲金額が増加したことなどが影響した。

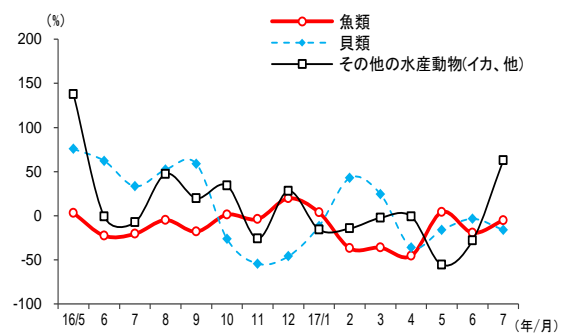
魚種別にみると、「魚類」は、著しく増加したマイワシのほか、マグロ、タイ、ウスメバル、アンコウなどの水揚げが増加したものの、ブリ、タラ、ヒラメなどが減少した。数量が前年同月比58.1%増の5,392トンとなったものの、金額は、同5.1%減の8億6,369万円となった。「貝類」は、ホタテガイ(半生貝/成貝)が大幅に減少し、数量が同22.3%減の1万7,216トン、金額は同16.0%減の43億5,484万円となった。「その他の水産動物」は、近海生スルメイカ、近海船凍スルメイカ、近海アカイカが大幅に増加し、数量が同34.9%増の4,825トン、金額は同62.7%増の24億7,034万円となった。

● 海面漁業 漁獲数量と金額



資料出所:青森県農林水産部

● 魚種別漁獲金額(前年同月比増加率)



資料出所:青森県農林水産部

八戸港水揚げ

数量、金額ともに前年を下回る

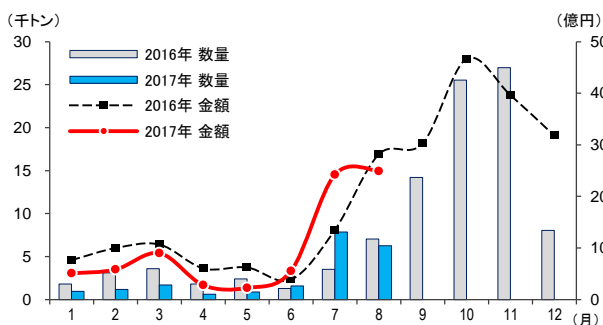
8月の八戸港水揚げは、数量が前年同月比10.9%減の6,266トン、金額が同11.5%減の24億9,044万円となり、数量、金額ともに前年を下回った。

イカ釣り漁は、数量が前年同月比12.7%減の2,339トン、金額は同12.1%減の12億4,273万円となった。船凍スルメイカが、帰港した船が前年に比べて半減し大幅に減少したほか、近海生スルメイカ、船凍アカイカともに前年実績を下回った。イカの魚価は前年比で10kg当たり37円(0.7%)上昇の5,313円となった。

大中型まき網漁は、サバが前年数量を上回ったものの、スルメイカが不振となり、数量が前年同月比11.4%減の3,381トン、金額は同18.3%減の10億218万円となった。

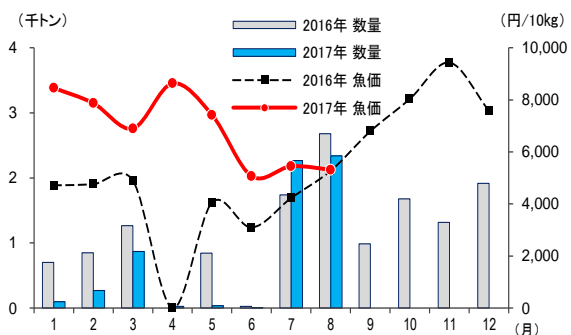
機船底引き網漁は、数量が前年同月比93.3%増の288トン、金額は同141.1%増の1億11万円となった。

● 八戸港水揚げ高



資料出所:八戸市水産事務所

● イカの水揚げ数量と魚価



資料出所:八戸市水産事務所 (注)2016年4月は水揚げ実績なし

二次産業

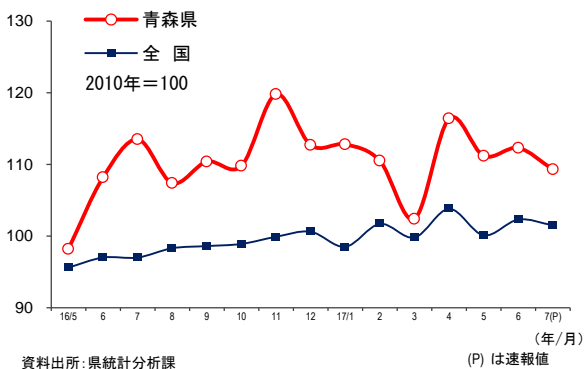
鉱工業生産

再び低下も、高めの水準が継続

7月の鉱工業生産指数(季節調整済速報値、2010年=100)は前月比2.7%低下の109.3と再び低下した。主要6業種をみると、電子部品・デバイスが前月比17.6%、鉄鋼が同12.1%、電気機械が同3.4%、食料品が同1.0%それぞれ低下した。一方、業務用機械は同7.3%、パルプ・紙は同0.6%それぞれ上昇した。

原指数で前年同月と比較すると、鉄鋼、電子部品・デバイスが大幅に低下したほか、食料品も低下し、前年同月比3.7%低下の112.9と3カ月ぶりに前年同月を下回った。

● 鉱工業生産指数



● 業種別生産指数 (2017年7月)

業 種 ()内は一万分比ウエート	季節調整済指数		原 指 数	
	2010年 =100	前月比 (%)	2010年 =100	前年同 月比 (%)
鉱 工 業 (10,000.0)	109.3	△ 2.7	112.9	△ 3.7
食 料 品 (2,410.0)	103.3	△ 1.0	99.9	△ 5.0
鉄 鋼 (1,200.9)	85.6	△ 12.1	82.2	△ 15.3
電子部品・デバイス (1,048.2)	136.0	△ 17.6	150.3	△ 10.1
業務用機械 (1,005.1)	112.9	7.3	119.7	8.6
パルプ・紙 (722.3)	93.3	0.6	99.5	1.6
電気機械 (429.2)	102.1	△ 3.4	107.2	5.3

資料出所: 県統計分析課

設備投資

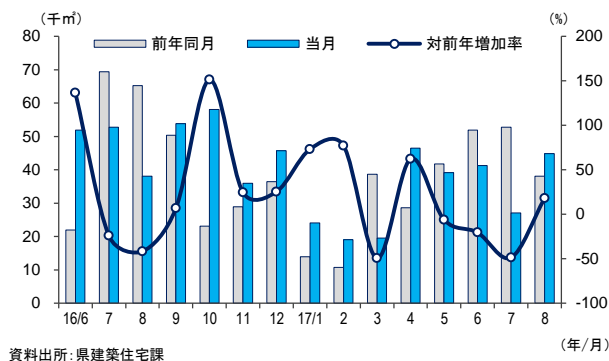
建築物着工床面積 (民間非居住用)、4カ月ぶりにプラス

8月の建築物着工床面積(民間非居住用)は、前年同月比18.0%増の4万4,903㎡と、4カ月ぶりに前年同月を上回った。

用途別着工床面積をみると、医療、福祉用が前年同月比22倍強増加の1万461㎡、運輸・通信用が同735.7%増の3,184㎡、他に分類されない建築物等が同132.5%増の9,199㎡、農林水産業用が同94.3%増の8,456㎡などとなり全体を押し上げた。

一方、卸・小売業用が同67.4%減の5,291㎡、教育、学習支援業用が同42.7%減の4,700㎡、製造業・鉱業・建設業用が同22.1%減の3,151㎡とそれぞれ減少した。

● 建築物着工床面積(民間非居住用)



● 用途別着工床面積(民間非居住用)

用途別	2017年8月 (㎡)	2016年8月 (㎡)	前年同月比 (%)
農林水産業用	8,456	4,353	94.3
製造業・鉱業・建設業用	3,151	4,044	△ 22.1
卸・小売業用	5,291	16,220	△ 67.4
運輸・通信用	3,184	381	735.7
教育、学習支援業用	4,700	8,206	△ 42.7
医療、福祉用	10,461	474	2107.0
その他のサービス業用	461	417	10.6
他に分類されない建築物他	9,199	3,956	132.5
合 計	44,903	38,051	18.0

資料出所: 県建築住宅課

二次産業

公共工事

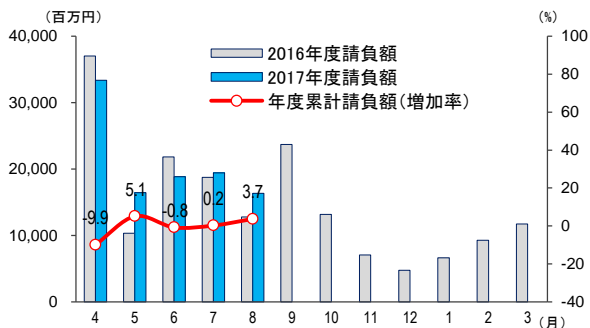
国が大幅増加、2カ月連続プラス

8月の東日本建設業保証(株)の保証取扱いによる公共工事請負額は、前年同月比27.7%増の163億1,800万円となり、2カ月連続のプラスとなった。

発注主体別の請負額は、国(含む独立行政法人等)が国土交通省、農林水産省、国立大学法人などで大幅に増加し、同133.2%増の37億7,100万円となった。県は県土整備部で増加したものの、農林水産部で大幅に減少し同10.9%減の46億8,000万円となった。一方、市町村は、弘前市、おいらせ町などで増加したものの、五戸町、むつ市、八戸市、三沢市、青森市などで減少し、同2.9%減の51億円となった。当月は、県、市町村が減少したものの、国が大幅に増加し全体を押し上げた。

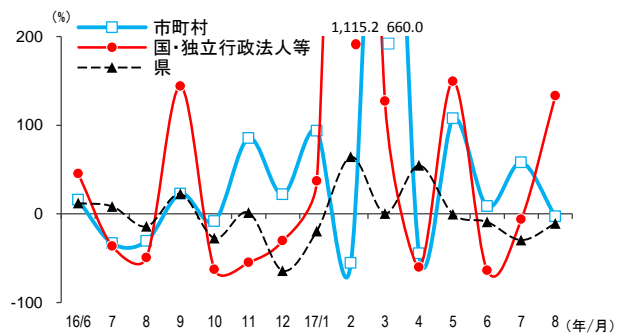
なお4~8月累計では、同3.7%増の1,044億1,800万円となり、過去10年で3番目に高い水準を維持している。

● 公共工事請負額



資料出所: 東日本建設業保証(株)

● 発注主体別・月別請負額の推移(前年同月比増加率)



資料出所: 東日本建設業保証(株)

住宅着工

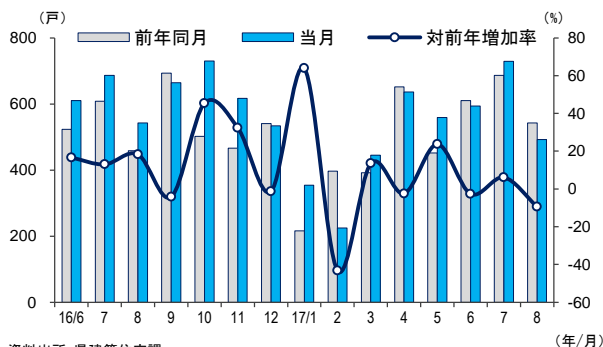
再びマイナス、高水準は継続

8月の県内新設住宅着工戸数は、前年同月比9.4%減の492戸となり、再びマイナスとなった。利用関係別では、持家が同11.6%減、貸家が同13.5%減、分譲住宅が同85.0%増となった。

地域別にみると、全体では、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、三沢市、つがる市、郡部で減少した。持家は、むつ市、平川市で増加したものの、八戸市、五所川原市、青森市などで減少した。貸家は、弘前市、郡部、むつ市などで増加したものの、十和田市、八戸市、三沢市などで減少した。分譲住宅は、青森市、三沢市、弘前市、八戸市などで増加した。

なお、1~8月累計(4,034戸)は、過去10年で2番目に高い水準となっている。

● 新設住宅着工戸数



資料出所: 県建築住宅課

● 利用関係別戸数

(単位: 戸, %)

	2017年 8月	2016年 8月	前年 同月比
持家	321	363	△ 11.6
貸家	134	155	△ 13.5
給与住宅	0	5	△ 100.0
分譲住宅	37	20	85.0
総戸数	492	543	△ 9.4

資料出所: 県建築住宅課

三次産業

百貨店・スーパー販売

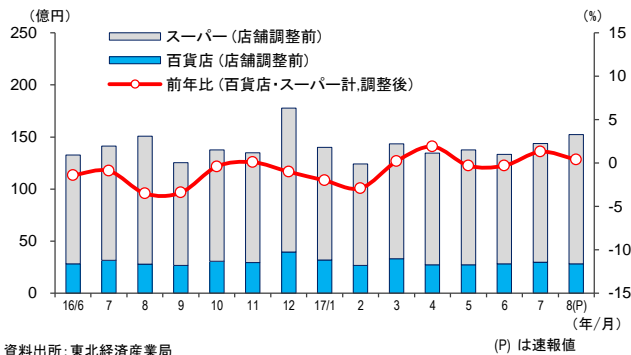
百貨店・スーパーの売上、3カ月連続のプラス

8月の県内百貨店・スーパー販売額(速報ベース、店舗調整後)は、前年同月比0.4%増と3カ月連続のプラスとなった。業態別では百貨店が同0.9%増、スーパーが同0.2%増となった。

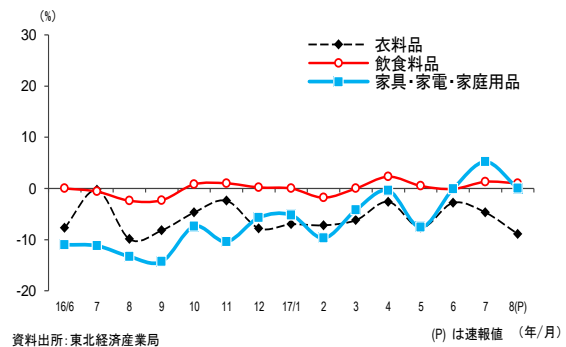
品目別では、その他の商品(医薬品や化粧品など)が同3.7%増、飲食料品が同1.0%増と前年実績を上回った。一方、衣料品は同8.9%減、家具・家電・家庭用品が同2.6%減となった。

衣料品は、気温の低い日が続きクールビズ関連が不振だったほか、終盤に入った夏物セールも伸び悩み、前年実績を下回った。家具・家電・家庭用品では、新築需要の鈍化により家具が伸び悩んだほか、家電が冷夏の影響からエアコンが不振で、冷蔵庫も売れ行きが悪く、全体として前年実績を下回った。

百貨店・スーパー販売動向



品目別売上高(店舗調整済、増加率)



各種小売業態販売額

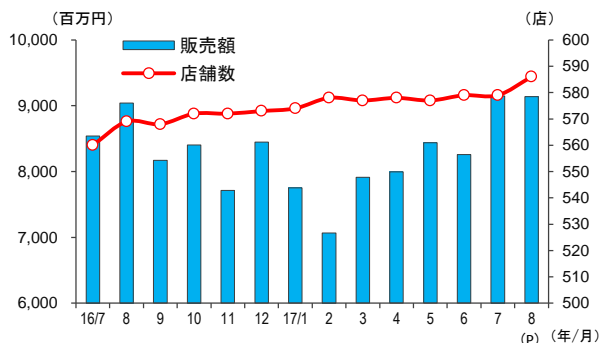
コンビニ、ドラッグストア前年比プラス

8月のコンビニエンスストア販売額(全店ベース)は、前年同月比1.1%増の91億3,900万円となった。店舗数は同3.0%増の586店となった。

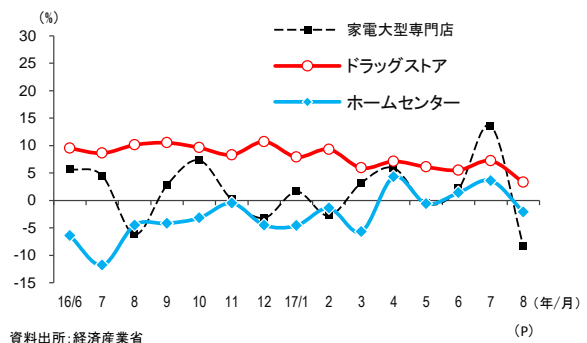
その他の小売業態販売動向(全店ベース、増加率)をみると、家電大型専門店が同8.3%減、ドラッグストアが同3.3%増、ホームセンターが同2.1%減となった。家電大型専門店は1~2カ月ごとに増減がみられるが、当月はマイナスとなった。ドラッグストアは、プラスは維持したものの増加率が減少傾向を示している。ホームセンターは、3カ月ぶりに低下しマイナスとなった。当月は、業態ごとにバラツキがみられた。

(注) 本項はすべて速報値である。

コンビニエンスストアの販売動向と店舗数



その他の小売業態販売動向(全店ベース、増加率)



三次産業

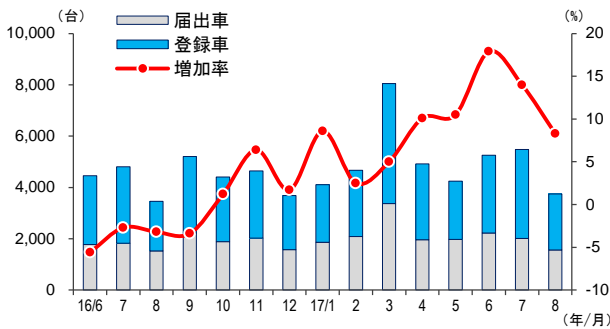
自動車販売

販売台数 11 カ月連続のプラス

8月の自動車販売台数は、登録車、届出車(軽自動車)ともに増加し、合計で前年同月比 8.3%増の 3,751 台と 11 カ月連続のプラスとなった。

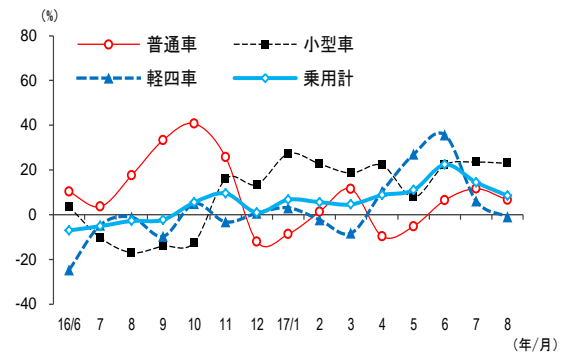
内訳別にみると、登録車は、普通乗用車が同 6.6%増、小型乗用車が同 23.0%増、貨物車が同 5.8%減となり、登録車合計では同 12.6%増の 2,184 台と 12 カ月連続のプラスとなった。届出車は、乗用車が同 1.0%減、貨物車が同 14.1%増となり、届出車合計では同 2.8%増の 1,567 台と 5 カ月連続のプラスとなった。乗用車の登録・届出車合計販売台数は同 8.5%増の 2,918 台と 11 カ月連続のプラスとなった。

自動車販売動向



資料出所: 日本自動車販売協会連合会青森県支部

乗用車販売動向(増加率)



資料出所: 日本自動車販売協会連合会青森県支部

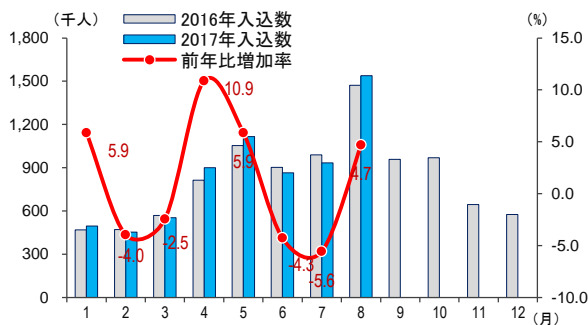
観光動向

入込数 3 カ月ぶりのプラス、宿泊者数再びプラス

8月の県内の観光動向は、県内 34 施設の入込数が前年同月比 4.7%増の 153 万 9,954 人と 3 カ月ぶりのプラスとなった。施設別入込数は、弘前市立観光館が同 9.2%増の 5 万 5,670 人、石ヶ戸休憩所が同 8.1%増の 5 万 7,789 人、浅虫水族館が同 4.6%増の 5 万 9,903 人、八甲田丸が同 2.9%増の 1 万 4,728 人、八食センターが同 2.5%増の 45 万 16 人とそれぞれ増加した。一方、むつ下北観光物産館は同 19.1%減の 7,445 人、アスパムが同 7.6%減の 18 万 3,914 人、太幸治記念館「斜陽館」が同 7.6%減の 1 万 4,119 人、白神山地ビジターセンターが同 1.7%減の 9,421 人と減少した。

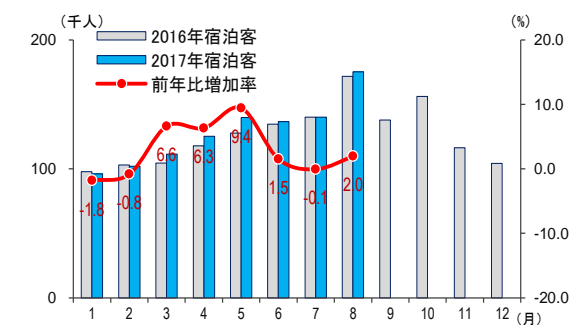
県内 53 施設(青森市、弘前市、八戸市、むつ市)の宿泊者数は、前年同月比 2.0%増の 17 万 5,190 人と再びプラスとなった。弘前市(17 施設)が同 0.3%減の 6 万 3,656 人、青森市(12 施設)が同 0.1%減の 4 万 4,710 人とそれぞれ減少したものの、むつ市(6 施設)が同 7.4%増の 1 万 5,452 人、八戸市(18 施設)が同 5.1%増の 5 万 1,372 人とそれぞれ増加した。

県内 34 施設入込数



資料出所: 県観光国際戦略局観光企画課

県内 53 施設宿泊者数



資料出所: 県観光国際戦略局観光企画課

物価・雇用・金融

消費者物価指数

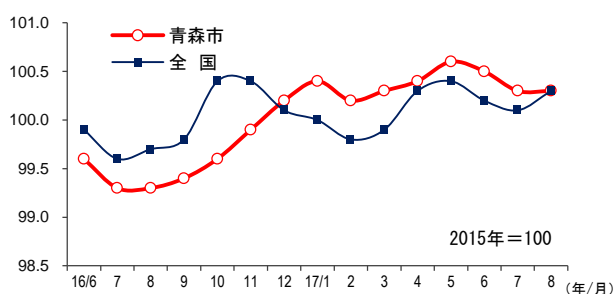
前月比横ばい、保健医療や教養娯楽上昇、被服及び履物下落

8月の青森市の消費者物価指数(2015年=100)は前月比横ばい、前年同月比1.0%上昇の100.3となった。主要費目別に前月と比べると、「保健医療」が保健医療サービスなどの上昇により1.5%、「教養娯楽」が教養娯楽用品などの上昇により1.1%、それぞれ上昇した一方、「被服及び履物」がシャツ・セーター類などの下落により2.8%、「家具・家事用品」が家庭用耐久財などの下落により0.4%、「食料」が生鮮野菜などの下落により0.3%、それぞれ下落した。

前年同月比では、「光熱・水道」が灯油等の上昇により6.8%、「教養娯楽」が書籍・他の印刷物の上昇などにより2.4%、それぞれ上昇した。

なお「生鮮食品を除く総合指数」は100.8となり、前月比では0.1%、前年同月比では1.5%それぞれ上昇した。

● 消費者物価指数



資料出所: 県統計分析課

● 費目別指数の動き (2017年8月)

	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	100.3	0.0	1.0
食料	102.1	△ 0.3	0.4
住居	99.9	0.0	△ 0.6
光熱・水道	97.0	0.3	6.8
家具・家事用品	98.1	△ 0.4	0.8
被服及び履物	98.0	△ 2.8	△ 1.3
保健医療	102.0	1.5	1.2
交通・通信	97.5	0.0	0.4
教育	102.5	0.0	0.5
教養娯楽	104.5	1.1	2.4
諸雑費	101.6	0.6	0.2

資料出所: 県統計分析課

雇用動向

有効求人倍率 1.26 倍、過去最高値を更新

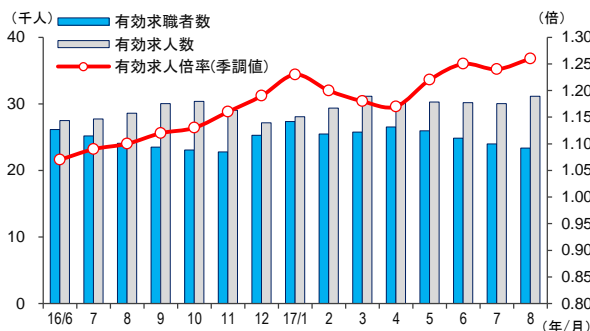
8月の求人・求職動向は、有効求人数が前年同月比8.9%増の3万1,165人、有効求職者数は同3.0%減の2万3,369人となった。有効求人倍率は、前月比0.02ポイント上昇の1.26倍となった。

新規求人の動きをみると、常用求人数が前年同月比14.3%増、臨時・季節求人数が同4.8%増、パート求人数が同4.7%増となり、全数では同9.7%増の1万1,861人と28カ月連続で増加した。

主要産業別の新規求人動向を前年同月比で見ると、建設業、運輸業、郵便業、卸売・小売業、医療、福祉、サービス業などで増加した一方、製造業、金融・保険業、不動産業、物品賃貸業、宿泊業、飲食サービス業などで減少した。

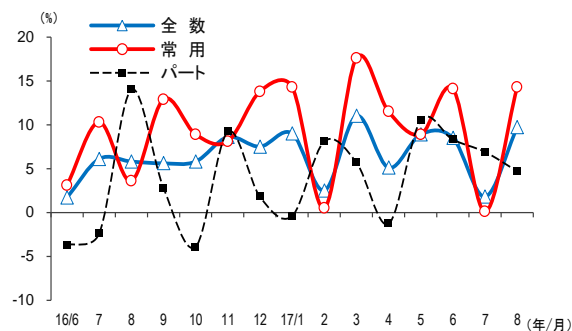
県内の雇用状況は、当月の有効求人倍率が、先々月の1.25倍を抜き1963年の集計開始以来、最高値を更新した。また、1倍台は20カ月連続となるなど高水準が継続しており、県内の雇用環境は改善が続いている。

● 有効求人倍率



資料出所: 青森労働局

● 新規求人数の増加率



資料出所: 青森労働局

物価・雇用・金融

企業倒産

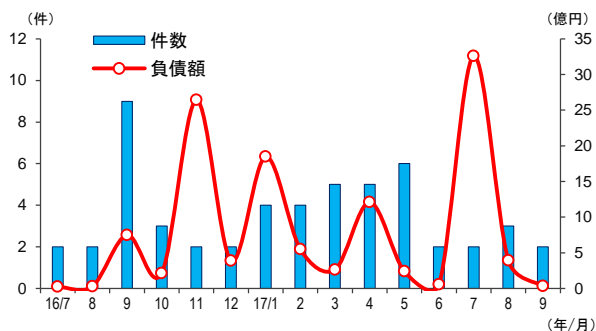
件数、負債総額ともに前年比大幅減少、小康状態続く

9月の県内企業倒産は、件数が前年同月比7件減の2件、負債総額は同7億1,300万円減の3,500万円となった。前月比では件数が1件減、負債総額は3億5,700万円減となった。業種別では、卸売業と小売業が各1件ずつとなった。

地域別では、十和田市、北津軽郡で各1件の発生となった。原因別では、販売不振が2件の発生となった。

県内の企業倒産は、件数が、2014年5月以降、41カ月連続で一桁台となり小康状態が続いている。なお当月の従業員被害者数は2人となり、1月からの累計では341人となった。

● 企業倒産状況



資料出所: 東京商工リサーチ

(注) 負債総額1千万円以上

● 業種別・原因別件数 (2017年9月)

業種	件数	原因	件数
一次産業・鉱業		放漫経営	
建設業		過小資本	
製造業		他社倒産の余波	
卸売業	1	既往のシワ寄せ	
小売業	1	信用低下	
金融・保険業		販売不振	2
不動産業		売掛金回収難	
運輸業		在庫状況悪化	
情報通信業		設備投資過大	
サービス業 他		その他	
合計	2	合計	2

資料出所: 東京商工リサーチ (負債総額1千万円以上)

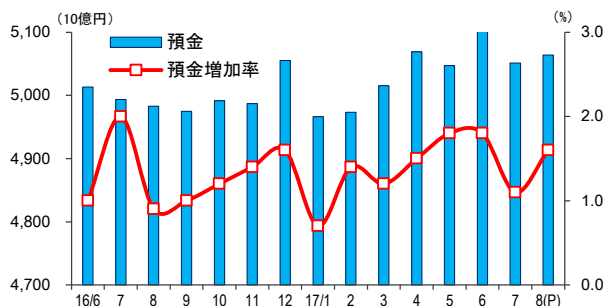
金融動向

預金、貸出金とも52カ月連続のプラス

8月末の県内金融機関(銀行・信用金庫・信用組合)の預金・貸出金残高(速報値)は、実質預金が前年同月比1.6%増の5兆638億円、貸出金は同4.5%増の2兆9,979億円とそれぞれ増加した。

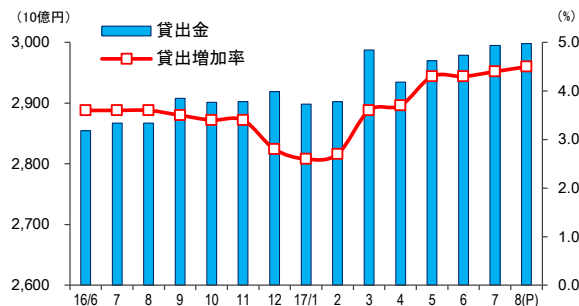
預金は法人預金、個人預金が増加し前年を上回った。預金全体のプラス幅は前月比0.5ポイント上昇し52ヶ月連続のプラスとなった。

一方、貸出金は住宅ローン、法人、地公体向けが、いずれも増加し前年を上回った。貸出金全体のプラス幅は前月比0.1ポイント上昇し、52ヶ月連続のプラスとなった。



資料出所: 日本銀行青森支店

(P) は速報値



資料出所: 日本銀行青森支店

(P) は速報値

国内景気

概況

—国内景気は、緩やかな回復基調が続いている—
個人消費は、緩やかに持ち直している。設備投資は持ち直している。公共投資は堅調に推移している。輸出は持ち直している。生産は持ち直している。企業収益は改善している。企業の業況判断は、改善している。雇用情勢は改善している。消費者物価は横ばいとなっている。

百貨店・スーパーの動向(既存店ベース)

—前年同月比 0.6%増、再びプラス—
8月の百貨店・スーパー販売額は前年同月比 0.6%増と再びプラスとなった。業態別にみると、百貨店が同 2.1%増、スーパーが同 0.1%増となった。商品別にみると、衣料品が同 0.7%減、飲食料品が同 0.5%増、その他商品が同 2.4%増となった。

住宅建設

—前年同月比 2.0%減、2カ月連続のマイナス—
8月の新設住宅着工戸数は、前年同月比 2.0%減の 8万 562戸と 2カ月連続のマイナスとなった。利用関係別では、持家が同 7.4%減と 3カ月連続の減少、貸家が同 4.9%減と 3カ月連続の減少、分譲住宅が同 12.0%増と 3カ月連続の増加となった。

企業倒産

—倒産件数、負債総額とも減少—
8月の企業倒産は、件数が前年同月比 12.0%減の 639件、負債総額は同 26.7%減の 923億 7,500万円となった。倒産件数は、今年 2番目に少なかった。負債総額は、11カ月ぶりの 1,000億円割れとなった。これは、負債額 100億円以上の大型倒産が 2カ月連続で発生がなかったほか、負債 1億円未満が 500件と全体の 78.2%を占め、小規模倒産中心に推移していることなどが影響した。

為替動向

—9月末終値 112円 45銭—
9月の東京外国為替市場は前月末から続伸、110.17円でスタート。上旬は、北朝鮮情勢や米国のハリケーン被害への懸念から 107.74円まで円高が進行。中旬は一転、北朝鮮不安の後退等、リスク回避目的での円保有が整理され円安が進行。下旬も米国での法人税大幅減税案が公表されたことから、米国経済の成長要因になるとの見方から円売りが優勢に推移。月末終値は、112円 45銭。

鉱工業生産指数

—前月比 2.1%上昇の 103.6—
8月の鉱工業生産指数は前月比 2.1%上昇の 103.6(季節調整値)となった。はん用・生産用・業務用機械、輸送機械、電子部品・デバイスなどが上昇した。一方、化学(除、医薬品)、石油・石炭製品、非鉄金属などが低下した。9月は、はん用・生産用・業務用機械、情報通信機械、電子部品・デバイスなどの低下により前月比 1.9%低下を予測している。

新車販売(除く軽自動車)

—前年同月比 4.7%増、再びプラス—
8月の国内新車販売は前年同月比 4.7%増の 23万 3,810台と再びプラスとなった。乗用車が同 2.8%増、貨物車が同 14.3%増となった。乗用車は普通乗用車が同 1.2%減と 2カ月連続のマイナス、小型乗用車は同 7.6%増と再びプラスとなった。

完全失業率

—前月比横ばいの 2.8%—
8月の完全失業率は、前月比横ばいの 2.8%となった。完全失業者数は前年同月比 23万人減の 189万人となり、87カ月連続で減少した。求職理由別にみると、勤め先や事業の都合が前年同月比 8万人減の 27万人、自己都合が同 4万人減の 89万人などとなった。

消費者物価指数

—前年同月比 0.7%上昇の 100.3—
8月の全国消費者物価指数は前年同月比 0.7%上昇、前月比(季節調整値)0.2%上昇の 100.3となった。前年同月に比べ、電気代、自動車等関係費(ガソリンなど)、保健医療サービス(診療代など)、他の光熱(灯油)、生鮮魚介(さけ)、酒類(ビール)などが上昇した。生鮮食品を除く総合指数は、前年同月比 0.7%上昇、前月比(季節調整値) 0.1%上昇の 100.3となった。

国際収支

—経常収支、38カ月連続で黒字—
8月の経常収支額は、前年同月比 4,100億円増(20.8%増)の 2兆 3,804億円と 38カ月連続で黒字が継続している。黒字幅の拡大は、第一次所得収支が黒字幅を拡大したこと等に起因する。経常収支の内訳は、貿易・サービス収支が 3,389億円の黒字、第一次所得収支が 2兆 2,385億円の黒字、第二次所得収支が 1,970億円の赤字となった。

県内・国内トピックス 9月

県内

4日 青森—台北間の定期チャーター便、運行決定

県の発表によると、台湾のエバー航空が11月3日から2018年3月13日までの約4カ月間、青森—台北間の定期チャーター便を運航する。同便は火曜日と金曜日の週2往復運航され、閑散期である冬季の観光推進が期待される。

15日 2017年産米のJA概算金、主力品種1,000円高

全農県本部は、県内各農協が米生産者に仮払いする「生産者概算金」を決定する際の基準となる2017年の「JA概算金」(1等米、60[㍩])を、主力品種の「つがるロマン」で1万1,700円、「まっしぐら」で1万1,500円と、共に前年産比1,000円引き上げた。市場デビュー3年目を迎えた「青天の霹靂」は前年産と同じ1万4,500円に設定した。

2017年度中に100歳となる高齢者、本県は283人

県のまとめによると、今年度中に100歳に到達する高齢者(9月1日現在)は、前年度比同数の283人となった。また、9月15日時点で県内の100歳以上の高齢者は585人と前年比18人増加した。

19日 県内地価、全用途平均は前年比1.5%下落

県の発表によると、7月1日時点の住宅地、商業地などを合わせた全用途平均の地価額は、前年比1.5%(100円)下落の1万9,900円/㎡と、25年連続で下落した。なお、下落幅は5年連続で縮小した。

21日 津軽鉄道、乗客数1億人突破

五所川原市と中泊町を結ぶ津軽鉄道の累計乗客数が、1930年の開業以来88年目で1億人を突破した。同鉄道は11月13日に迎える全線開業88周年と乗客1億人達成を記念し「1日フリー乗車券」を発売する。

国内

8日 街角景気、現況判断指数横ばい

内閣府が発表した8月の景気ウォッチャー調査によると、景気の現状に対する判断指数は前月比横ばいの49.7となり、2カ月連続で景気判断の分かれ目となる50を下回った。

15日 2017年度中に100歳となる高齢者、全国で3万2,097人

敬老の日を前にした厚生労働省の発表によると、今年度中に100歳を迎える高齢者(9月1日現在)は、前年度比350人増の3万2,097人となった。また、9月15日時点での100歳以上の高齢者は6万7,824人と、前年比2,132人増加した。

19日 基準地価、全国の商業地0.5%上昇

国土交通省が発表した地価調査結果の概要によると、7月1日時点で全国の商業地は前年比0.5%上昇した。一方、全国の住宅地は同0.6%下落となった。

20日 3カ月連続の貿易黒字

財務省が発表した8月の貿易統計(速報、通関ベース)によると、輸出から輸入を差し引いた貿易収支は1,136億円と、3カ月連続の黒字となった。輸出は前年同月比18.1%増と9カ月連続、輸入は同15.2%増と8カ月連続でそれぞれ増加した。

8月の訪日客数、247万8,000人

日本政府観光局によると、8月の訪日外国人旅行者数(推計)は前年同月比20.9%増の247万8,000人となった。国、地域別では、中国、韓国、台湾、香港などの順。この結果、1~8月の累計では、前年同期比17.8%増の1,891万6,200人となった。

25日 9月の月例経済報告、景気判断据え置き

内閣府は9月の月例経済報告で国内景気の基調判断を、4カ月連続で「緩やかな回復基調が続いている」とした。また、個人消費、設備投資など主要項目の判断も据え置きとした。

全国の主要経済指標

年次及び月	日証券発行高 (平均残高・億円)	国内銀行勘定(月末)		国内銀行貸出約定平均金利 (年利%)	景気動向指数(一致) 2010年=100	国内企業物価指数 2015年=100	消費者物価指数 2015年=100	鉱工業生産指数 2010年=100	機械受注(季調済) (億円)	公共工事請負額 (億円)
		実質預金 (10億円)	貸出残高 (10億円)							
2012(H24)	809,455	613,690	433,823	1.364	-	98.0	96.2	97.8	88,134	128,456
2013(H25)	835,998	640,633	449,134	1.258	-	99.2	96.6	97.0	93,232	150,536
2014(H26)	866,132	660,844	461,147	1.180	-	102.4	99.2	99.0	96,920	165,257
2015(H27)	908,485	679,106	475,937	1.110	-	100.0	100.0	97.8	100,891	149,257
2016(H28)	961,251	734,342	491,573	0.998	-	96.5	99.9	97.7	102,600	154,200
2016(H28) 6	951,991	715,380	478,005	1.039	111.2	96.4	99.9	97.0	8,455	14,466
7	960,075	711,968	478,318	1.033	111.4	96.3	99.6	97.0	8,932	12,706
8	962,598	713,266	478,897	1.026	111.6	96.0	99.7	98.3	8,406	13,674
9	961,605	718,064	483,362	1.016	111.9	96.1	99.8	98.6	8,432	21,528
10	964,126	720,207	482,275	1.014	112.9	96.1	100.4	98.9	8,721	11,628
11	968,657	728,632	485,636	1.009	114.6	96.4	100.4	99.9	8,478	9,172
12	998,207	734,342	491,573	0.998	114.5	97.1	100.1	100.6	8,660	13,527
2017(H29) 1	1,000,204	734,157	490,302	0.996	113.3	97.7	100.0	98.5	8,379	7,837
2	987,652	735,389	490,872	0.992	115.0	98.0	99.8	101.7	8,505	11,608
3	994,636	748,497	496,374	0.982	114.4	98.2	99.9	99.8	8,623	24,568
4	996,652	753,144	493,836	0.982	116.7	98.4	100.3	103.8	8,359	8,202
5	999,953	753,164	493,993	0.976	115.8	98.4	100.4	100.1	8,055	10,000
6	995,829	750,914	495,736	0.969	116.8	98.5	100.2	102.3	7,900	14,660
7	1,003,958	753,838	496,157	0.965	115.7	98.8	100.1	101.5	8,533	13,713
8	1,007,793			0.962	P 117.6	98.8	100.3	P 103.6	8,824	13,655
前月比%	0.4	0.4	0.1	-0.003*イント	1.9ポイント	0.0	0.2	2.1	3.4	-0.4
前年同月比%	4.7	5.9	3.7	-0.064*イント	-	2.9	0.7	5.4	4.4	-0.1
資料出所	日本銀行			内閣府	日本銀行	総務省	経済産業省	内閣府	国土交通省	

※鉱工業生産指数の前年同月比及び年次は原指数による

※消費者物価指数の前月比は季節調整値による

※機械受注は、船舶・電力を除く民需、前年同月比は原系列による

年次及び月	新設住宅着工戸数 (戸)	新車登録届出台数 (乗用車) (千台)	百貨店・スーパー販売額 (億円)	企業倒産		完全失業率 (季調済) (%)	国際収支(経常) (億円)	東京外為相場 (月平均) (円/US\$)	日経平均株価 (東証1部 225銘柄) (円)	日経商品指数 (月末42種) (70年=100)
				件数 (件)	負債総額 (億円)					
2012(H24)	882,797	4,572	195,916	12,124	38,346	4.3	47,640	79.79	10,395.18	169.679
2013(H25)	980,025	4,562	197,774	10,855	27,823	4.0	44,566	97.71	16,291.31	188.334
2014(H26)	892,261	4,699	201,973	9,731	18,741	3.6	39,215	105.79	17,450.77	183.036
2015(H27)	909,299	4,216	200,491	8,812	21,124	3.4	162,351	121.09	19,033.71	160.852
2016(H28)	967,705	4,146	195,948	8,446	20,061	3.1	203,421	108.77	19,114.37	168.833
2016(H28) 6	85,953	344	15,679	763	1,082	3.1	9,765	105.49	15,575.92	156.704
7	85,208	348	17,214	712	1,240	3.0	19,396	103.90	16,569.27	157.572
8	82,242	279	15,545	726	1,260	3.1	19,704	101.27	16,887.40	156.636
9	85,622	397	14,710	649	851	3.0	18,643	102.04	16,449.84	156.713
10	87,707	315	15,970	683	1,112	3.0	15,466	103.82	17,425.02	158.586
11	85,051	342	16,479	693	5,945	3.1	14,267	108.18	18,308.48	164.413
12	78,406	333	20,676	710	1,717	3.1	11,143	115.95	19,114.37	168.833
2017(H29) 1	76,491	343	16,743	605	1,285	3.0	952	114.73	19,041.34	171.743
2	70,912	413	14,493	688	1,158	2.8	28,940	113.06	19,118.99	172.284
3	75,887	584	16,312	786	1,668	2.8	29,805	113.01	18,909.26	173.696
4	83,979	297	15,583	680	1,041	2.8	19,557	110.06	19,196.74	171.609
5	78,481	312	15,881	802	1,069	3.1	16,776	112.21	19,650.57	172.234
6	87,456	396	15,694	706	15,883	2.8	9,288	110.91	20,033.43	172.118
7	83,234	357	17,179	714	1,099	2.8	P 23,200	112.44	19,925.18	174.141
8	80,562	291	P 15,655	639	924	2.8	P 23,804	109.91	19,646.24	176.718
前月比%	-3.2	-18.6	0.3	-10.5	-15.9	0.0*イント	-	-2.3	-1.4	1.5
前年同月比%	-2.0	4.1	0.6	-12.0	-26.7	-0.3*イント	20.8	8.5	16.3	12.8
資料出所	国土交通省	自販協連合会	経済産業省	東京商工リサーチ		総務省	財務省	日本銀行	日経新聞社	

※百貨店・スーパー販売額(2015.7大型小売店販売額を名称変更)の前月比は季節調整済増減率、前年同月比は既存店ベース増減率

※企業倒産は負債額1千万円以上

※日経平均株価は年末、月末の終値ベース

青森県の主要経済指標・各種統計 1

年次及び月	人口 (推計)		日銀券発行(-) 還収 超額(億円)	県内金融機関		鉱工業 生産指数 (季調済) 2010年=100	公共工事請負額		企業倒産	
	(人)	社会動態(人) (転入-転出)		実質預金 (億円)	貸出残高 (億円)		(百万円)	うち県分 (百万円)	件数 (件)	負債総額 (百万円)
2012 (H24)	1,361,053	-5,311	1,287	47,633	26,780	104.7	208,618	55,074	57	52,781
2013 (H25)	1,347,650	-5,924	1,762	48,252	27,298	106.4	197,238	60,716	53	11,199
2014 (H26)	1,333,729	-6,269	1,957	49,114	27,890	106.9	169,394	58,023	66	9,485
2015 (H27)	1,319,297	-6,205	2,749	49,540	28,849	107.8	151,727	58,460	52	6,894
2016 (H28)	1,305,721	-5,853	2,929	50,154	29,878	110.3	177,083	65,673	49	12,227
2016 (H28) 6	1,296,266	-162	332	50,133	28,545	108.2	21,814	8,455	5	1,592
7	1,295,463	-100	202	49,937	28,673	113.5	18,765	8,366	2	22
8	1,294,831	19	214	49,828	28,672	107.4	12,774	5,252	2	30
9	1,294,209	66	198	49,747	29,081	110.4	23,679	10,917	9	748
10	1,293,681	126	328	49,914	29,015	109.8	13,180	5,240	3	213
11	1,293,130	-116	287	49,871	29,026	119.8	7,077	2,421	2	2,643
12	1,292,212	-187	689	50,553	29,188	112.7	4,763	960	2	389
2017 (H29) 1	1,291,206	-83	-159	49,660	28,985	112.8	6,617	1,555	4	1,847
2	1,290,008	-360	201	49,733	29,025	110.5	9,291	2,262	4	551
3	1,288,791	-5,346	220	50,154	29,878	102.4	11,732	3,709	5	264
4	1,282,545	394	337	50,692	29,346	116.4	33,370	19,622	5	1,209
5	1,282,136	77	92	50,470	29,698	111.2	16,443	3,824	6	239
6	1,281,461	-136	349	51,021	29,790	112.3	18,847	7,687	2	55
7	1,280,651	-150	221	50,510	29,952	P 109.3	19,439	5,894	2	3,260
8	1,279,829	-90	236	P 50,638	P 29,979		16,318	4,680	3	392
9	1,278,997		163						2	35
前月比 %	-0.1	-	-	0.3	0.1	-2.7	-16.1	-20.6	-33.3	-91.1
前年同月比%	-1.2	-	-	1.6	4.5	-3.7	27.7	-10.9	-77.8	-95.3
資料出所	県統計分析課		日本銀行青森支店		県統計分析課	東日本建設業保証	東京商工リサーチ			

※人口の年は1月1日、月は各1日現在、社会動態は年・月中の計数
 ※実質預金は手形・小切手を除く、預貸金の年次計数は年度末残高
 ※公共工事請負額の年次の欄は年度計数

※日銀券の年次計数は年度累計
 ※鉱工業生産指数の年次計数および前年同月比は原指数による
 ※企業倒産は負債額1千万円以上

年次及び月	新車 登録台数 (台)	乗用車登 録届出 台数(台)	新設住宅着工戸数			新設住宅 床面積 (千平米)	消費者 物価指数 2015年=100 (青森市)	勤労者世帯 家計消費 支出額 (青森市)(円)	毎月勤労統計調査	
			総戸数 (戸)	うち持家 (戸)	うち貸家 (戸)				現金給与総額 (円)	総実労働時間 (時間)
2012 (H24)	33,496	49,397	5,578	3,286	1,844	582	96.2	274,133	253,142	155.0
2013 (H25)	31,442	49,982	6,461	4,193	1,958	632	96.5	267,928	257,302	154.4
2014 (H26)	31,736	52,046	5,469	3,387	1,721	575	99.8	259,815	254,237	155.1
2015 (H27)	30,680	44,577	5,686	3,336	1,820	586	100.0	255,240	251,066	154.6
2016 (H28)	31,217	43,396	6,494	3,597	2,256	651	99.5	265,004	252,236	152.5
2016 (H28) 6	2,685	3,473	610	394	180	67	99.6	224,963	329,119	157.8
7	2,992	3,848	687	381	281	69	99.3	229,876	257,122	155.7
8	1,939	2,690	543	363	155	58	99.3	260,830	229,871	148.4
9	2,972	4,146	664	376	241	66	99.4	237,847	215,324	151.5
10	2,525	3,465	730	347	334	70	99.6	282,665	216,521	154.1
11	2,620	3,549	617	333	225	60	99.9	320,791	230,649	155.2
12	2,119	2,773	534	247	203	49	100.2	319,561	431,088	155.5
2017 (H29) 1	2,241	3,294	354	124	208	29	100.4	291,220	227,354	144.2
2	2,591	3,818	225	133	62	22	100.2	275,709	220,920	151.7
3	4,683	6,332	445	255	147	44	100.3	314,577	230,618	157.0
4	2,952	3,958	636	413	156	71	100.4	296,396	227,689	157.5
5	2,267	3,390	559	363	163	59	100.6	234,487	224,120	149.4
6	3,031	4,251	594	387	178	65	100.5	269,218	359,373	159.9
7	3,468	4,406	729	403	283	72	100.3	241,612	275,063	159.4
8	2,184	2,918	492	321	134	53	100.3			
前月比 %	-37.0	-33.8	-32.5	-20.3	-52.7	-26.4	0.0	-10.3	-23.4	-0.3
前年同月比%	12.6	8.5	-9.4	-11.6	-13.5	-9.0	1.0	5.1	7.0	2.4
資料出所	自販協連合会青森県支部		県建築住宅課			県統計分析課	総務省	県統計分析課		

※毎月勤労統計調査は事業所規模5人以上を対象

青森県の主要経済指標・各種統計 2

年次及び月	百貨店・スーパー 販売額 (百万円)	コンビニエンスストア販売額 (百万円)	家電大型専門 店販売額 (百万円)	ドラッグ ストア 販売額 (百万円)	ホームセ ンター販 売額 (百万円)	りんご			漁業 (八戸港水揚高)	
						出荷量 (トン)	市場価格 (円/Kg)	産地価格 (円/Kg)	数量 (トン)	金額 (百万円)
2012 (H24)	181,246	-	-	-	-	274,892	263	164	112,395	18,670
2013 (H25)	179,920	-	-	-	-	255,696	317	191	97,591	19,672
2014 (H26)	177,668	-	28,532	40,073	54,090	296,117	319	180	120,530	22,969
2015 (H27)	172,465	-	26,335	43,523	54,193	298,255	329	209	113,359	19,699
2016 (H28)	168,443	94,851	26,540	47,970	51,990	294,359	391	190	99,312	23,436
2016 (H28) 6	13,258	7,751	1,878	4,090	4,247	15,551	396	-	1,299	384
7	14,132	8,542	2,534	4,175	4,592	10,282	417	-	3,523	1,350
8	15,068	9,040	2,358	4,422	4,664	2,639	458	-	7,034	2,815
9	12,546	8,171	1,995	3,962	3,951	22,433	278	190	14,199	3,030
10	13,758	8,406	2,136	4,120	4,351	26,137	325	245	25,531	4,668
11	13,499	7,716	2,028	3,990	4,501	23,073	339	251	26,979	3,961
12	17,777	8,446	2,821	4,360	5,180	29,154	371	199	8,037	3,175
2017 (H29) 1	13,996	7,751	2,658	4,131	3,542	31,405	322	180	949	505
2	12,425	7,069	1,815	3,823	2,853	31,814	289	159	1,181	581
3	14,352	7,912	2,644	3,905	3,630	36,359	265	136	1,689	900
4	13,445	7,996	1,936	4,143	5,066	34,152	258	190	601	278
5	13,761	8,438	1,904	4,215	5,162	25,368	286	-	880	224
6	13,345	8,259	1,917	4,316	4,308	17,792	325	-	1,598	554
7	14,387	9,146	2,879	4,474	4,756	12,665	373	-	7,857	2,423
8	P 15,245	P 9,139	P 2,162	P 4,570	P 4,567	3,334	391	-	6,266	2,490
前月比 %	-	-0.1	-24.9	2.1	-4.0	-73.7	4.8	-	-20.2	2.8
前年同月比%	0.4	1.1	-8.3	3.3	-2.1	26.3	-14.6	-	-10.9	-11.5
資料出所	経済産業省				県りんご果樹課			八戸市水産事務所		

※百貨店・スーパー販売額の前年同月比は既存店ベース増減率

※りんご年次欄はりんご年度の計数

年次及び月	有効求人 倍率(倍)	新規求人 倍率(倍)	雇用保険		貿易 (青森港)		貿易 (八戸港)		青森県景気 ウォッチャー調査 (現状判断 DI)	あおぎん BSI	
			受給人員 (人)	受給金額 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)			
2012 (H24)	0.64	0.96	-	13,070	6,785	29,059	107,146	122,288	-	-	
2013 (H25)	0.78	1.14	-	12,291	7,651	35,866	122,070	141,664	-	-	
2014 (H26)	0.81	1.16	-	11,408	7,733	34,824	132,609	177,830	-	-	
2015 (H27)	0.95	1.34	-	10,654	5,913	25,041	129,394	192,285	-	-	
2016 (H28)	1.14	1.60	-	9,586	4,577	14,834	125,646	147,564	-	-	
2016 (H28) 6	1.07	1.48	6,729	826	354	1,002	11,929	9,743	-	-	
7	1.09	1.53	6,591	711	291	757	10,010	14,739	48.3	-4.8	
8	1.10	1.49	7,441	854	475	1,475	10,052	9,863	-		
9	1.12	1.51	6,143	696	386	1,042	5,155	11,471	-	10.8	
10	1.13	1.56	5,554	587	291	513	13,673	27,196	43.2		
11	1.16	1.63	5,463	616	442	1,591	8,293	11,151	-		
12	1.19	1.65	5,878	657	367	2,265	12,430	12,876	-		
2017 (H29) 1	1.23	1.70	9,561	1,472	424	2,665	12,016	12,750	47.3	-8.6	
2	1.20	1.55	6,856	856	691	3,233	9,577	8,038	-		
3	1.18	1.63	6,174	789	386	1,279	12,664	18,953	-	0.8	
4	1.17	1.59	5,523	647	381	2,179	8,674	11,439	51.0		
5	1.22	1.72	6,608	818	208	1,287	11,908	12,484	-		
6	1.25	1.74	6,260	732	1,009	1,986	10,133	9,331	-		
7	1.24	1.59	6,218	670	336	0	10,752	17,138	50.8	-	
8	1.26	1.73	6,992	866	475	1,300	13,371	12,754	-	-	
前月比 %	0.02ポイント	0.14ポイント	12.4	29.3	41.4	全増	24.4	-25.6	-0.2ポイント	9.4ポイント	
前年同月比%	0.16ポイント	0.24ポイント	-6.0	1.5	0.0	-11.9	33.0	29.1	-	-	
資料出所	青森労働局				函館税関、青森支署・八戸支署			県統計分析課		青森銀行	

※求人倍率の年次の欄は原数値の年度計数※雇用保険の年次の値は年度計数

青森県の主要経済指標・各種統計 3

☆県内主要都市・地区各種指標

年次及び月	観光施設入 込客数(人)	宿泊者数 (人)	青森空港乗 降客数 (定期便) (人)	パスポート 発行件数 (件)	三市の宿泊者数 (人)			地区 BSI			
					青森市 (12施設)	弘前市 (17施設)	八戸市 (18施設)	青森	津軽	県南	
2012 (H24)	10,852,850	1,248,715	819,941	18,765	322,945	334,981	496,548	-	-	-	
2013 (H25)	10,408,710	1,616,712	848,951	14,968	402,275	483,615	505,059	-	-	-	
2014 (H26)	9,878,186	1,498,169	903,389	13,560	374,463	487,827	505,045	-	-	-	
2015 (H27)	9,987,354	1,497,981	981,175	13,301	373,938	518,399	462,499	-	-	-	
2016 (H28)	9,891,582	1,518,642	1,061,995	14,904	378,634	535,657	474,738	-	-	-	
2016 (H28) 6	902,370	134,567	90,257	1,172	34,781	47,229	39,886	-10.6	4.8	-6.3	
	7	988,832	140,092	98,750	1,152	34,090	42,935				
	8	1,471,223	171,831	112,073	2,023	44,735	63,837				48,865
2016 (H28) 9	957,213	137,835	101,989	1,161	35,624	47,723	41,995	1.2	33.3	3.7	
	10	969,341	156,238	103,494	1,113	41,564	54,909				45,442
	11	643,604	116,288	89,895	1,085	26,606	41,028				38,926
2017 (H29) 12	574,904	104,317	73,795	1,238	24,649	35,342	35,341	-8.0	-10.8	-7.4	
	2017 (H29) 1	495,775	96,137	69,552	1,438	26,442	31,206				29,804
	2017 (H29) 2	452,980	102,123	68,725	1,124	25,345	36,677				30,724
2017 (H29) 3	553,884	111,481	86,184	1,354	25,650	38,804	36,881	4.6	4.4	-5.8	
	2017 (H29) 4	901,247	125,243	84,282	1,158	29,065	47,835				38,215
	2017 (H29) 5	1,115,685	139,792	107,049	1,181	33,070	51,590				41,345
2017 (H29) 6	863,641	136,611	106,806	1,263	31,857	48,616	42,623				
2017 (H29) 7	933,702	140,006	102,081	1,353	32,639	48,018	44,068				
2017 (H29) 8	1,539,954	175,190	119,154	1,705	44,710	63,656	51,372				
前月(期)比%	64.9	25.1	16.7	26.0	37.0	32.6	16.6	12.6# イト	15.2# イト	1.6# イト	
前年同月(期)比%	4.7	2.0	6.3	-15.7	-0.1	-0.3	5.1	-	-	-	
資料出所	県観光企画課		空港管理事務所	県統計分析課	県観光企画課			青森銀行			

※観光施設入込客数は県内34施設合計、宿泊者数は青森市、弘前市、八戸市、むつ市53施設(2016.7以降)合計

年次及び月	推計人口 (人)			新車(登録車)販売台数(台) (大型特殊車除く)			新設住宅着工戸数 (戸)		
	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市
2012 (H24)	297,618	182,487	236,434	8,346	3,917	7,221	1,260	868	1,440
2013 (H25)	295,145	181,057	235,585	7,740	3,612	6,467	1,665	822	1,457
2014 (H26)	292,769	179,582	233,951	7,669	3,704	6,564	1,445	761	1,197
2015 (H27)	290,251	178,098	232,634	7,424	3,598	6,101	1,378	871	1,395
2016 (H28)	287,160	177,383	231,098	7,829	3,578	6,411	1,761	1,084	1,463
2016 (H28) 7	285,106	176,105	229,809	802	315	623	177	136	133
	284,978	176,154	229,805	461	227	431	116	74	145
	284,936	176,025	229,661	693	340	621	157	85	159
2016 (H28) 10	284,754	175,900	229,527	571	313	565	275	100	109
	284,649	175,942	229,466	561	321	580	146	109	133
	284,441	175,843	229,361	626	260	400	148	112	119
2017 (H29) 1	284,257	175,777	229,287	526	266	483	59	53	110
	283,948	175,672	229,190	607	311	512	74	20	78
	283,671	175,440	229,131	1,217	635	855	105	84	132
2017 (H29) 4	281,920	174,190	228,168	691	341	692	184	88	138
	282,743	174,701	228,100	562	286	470	173	78	112
	282,704	174,630	228,021	737	409	618	153	103	147
2017 (H29) 7	282,519	174,507	227,987	936	366	849	198	126	150
	282,324	174,366	227,965	494	267	473	122	89	108
	282,207	174,310	227,796						
前月(期)比%	-0.0	-0.0	-0.1	-47.2#	-27.0	-44.3	-38.4	-29.4	-28.0
前年同月(期)比%	-1.0	-1.0	-0.8	7.2#	17.6	9.7	5.2	20.3	-25.5
資料出所	県統計分析課			自販協連合会青森県支部			県建築住宅課		